



統計資料 25-2-9

平成25年12月20日
統計課 経済産業係
ダイヤル 027-226-2419

平成 17 年 基 準

群馬県鉱工業指数

平成 25 年 10 月 分

「生産、出荷は上昇、在庫は低下で推移」

項 目	季節調整済指数		原 指 数	
	指 数	前月比(%)	指 数	前年同月比(%)
生 産	109.1	2.6	116.9	5.2
出 荷	116.7	9.9	123.6	3.4
在 庫	79.5	▲0.1	76.4	1.9
在 庫 率	102.1	3.9	90.8	▲11.5

群馬県企画部統計課

インターネットでご覧いただけます
<http://toukei.pref.gunma.jp/>

利 用 上 の 注 意

1 指数の種類、基準年次、ウェイト算定基準及び品目数

指数の種類	基準年次	ウェイト算定基準	採用品目
生産指数	平成17年	付加価値額	187
生産者出荷指数	〃	出荷額	182
生産者製品在庫指数	〃	在庫額	123
生産者製品在庫率指数	〃	〃	116

※生産指数及び生産者出荷指数の採用品目数には、電力・ガス事業を含む。

2 指数算式－1

品目指数を基準時の固定ウェイト加重平均するラスパイレス算式である。

$$\text{総合指数} = \frac{\left(\frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時ウェイト} \right) \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}} \times 100$$

指数算式－2（生産者製品在庫率指数）

在庫と出荷の比率の推移をみることにより、産出された製品の需給動向をみることができる。

$$\text{総合在庫率指数} = \frac{\left(\frac{\frac{\text{比較時在庫数量}}{\text{比較時出荷数量}}}{\frac{\text{基準時在庫数量}}{\text{基準時出荷数量}}} \times \text{基準時在庫額ウェイト} \right) \text{の総和}}{\text{基準時在庫額ウェイトの総和}} \times 100$$

3 分類は、業種分類及び特殊分類（財別分類）である。

4 指数値の計算は月別、四半期別及び暦年別に行い、小数点第2位以下を四捨五入した。

四半期別指数は3か月分（1～3月期=Ⅰ期, 4～6月期=Ⅱ期, 7～9月期=Ⅲ期, 10～12月期=Ⅳ期としている。）の指数値を単純平均したもので、年別指数は12か月分の指数値を単純平均したものである。

各増減率は端数処理後の数値で計算し、小数点第2位以下を四捨五入した。

5 季節調整

生産・出荷の両指数については曜日・祝祭日調整等を含むX-12-ARIMAにより、在庫・在庫率の両指数についてはX-12-ARIMAの中のX-11デフォルトにより季節調整を行っている。

この季節調整済指数により前月、前期との比較など短期的動向を観察している。また、原指数により前年同月、前年同期、前年との比較など季節変動の影響をうけない長期的動向を観察している。

6 資料出所

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 経済産業省生産動態統計調査 | (3) 他の官庁の資料 |
| (2) 庁内各課の資料 | (4) 組合または事業所へ照会 |

7 本文中及び統計表中の符号は、次のとおりである。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| (1) 「r」は訂正数値(revised) | (3) 「0.0」は、0.05未満 |
| (2) 「▲」はマイナス | |

8 年間補正

経済産業省では、毎年、生産動態統計調査の前年分のデータを訂正（年間補正）している。

これを受けて、群馬県鉱工業指数でも、毎年一回前年分の原指数及び季節調整済指数を再計算し、前年の1月から当年の最新公表月までの指数値を訂正・公表している。この際には、ほぼ全面的に対象期間の指数値が訂正されるため、特に「r」は付していない。

10月の鉱工業動向

生産、出荷は上昇、在庫は低下で推移

【生産】

季節調整済指数で 109.1、前月比 2.6%上昇となった。

前年同月比(原指数による)は、5.2%上昇となった。

・上昇した主な業種(前月比)		・低下した主な業種(前月比)	
鉱業	119.7%	木材・木製品工業	▲ 12.5%
電気機械工業	10.6%	金属製品工業	▲ 9.4%
繊維工業	10.3%	その他製品工業	▲ 7.6%

【出荷】

季節調整済指数で 116.7、前月比 9.9%上昇となった。

前年同月比(原指数による)は、3.4%上昇となった。

・上昇した主な業種(前月比)		・低下した主な業種(前月比)	
鉱業	76.9%	電子部品・デバイス工業	▲ 12.0%
電気機械工業	14.2%	その他製品工業	▲ 10.6%
一般機械工業	11.3%	家具製品工業	▲ 7.8%

【在庫】

季節調整済指数で 79.5、前月比 0.1%低下となった。

前年同月比(原指数による)は、1.9%上昇となった。

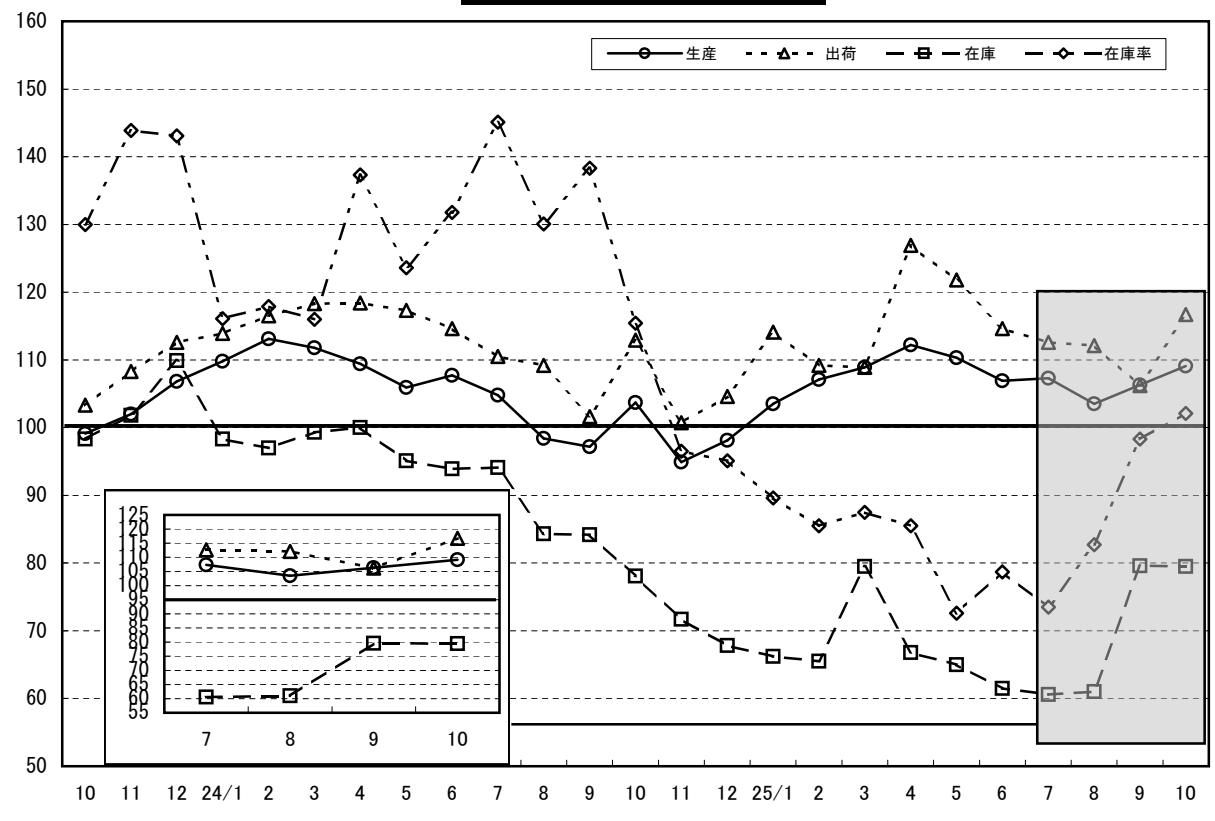
・上昇した主な業種(前月比)		・低下した主な業種(前月比)	
その他製品工業	39.7%	一般機械工業	▲ 34.0%
電子部品・デバイス工業	16.2%	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 12.8%
家具製品工業	3.8%	鉄鋼業	▲ 10.5%

◎寄与した主な業種

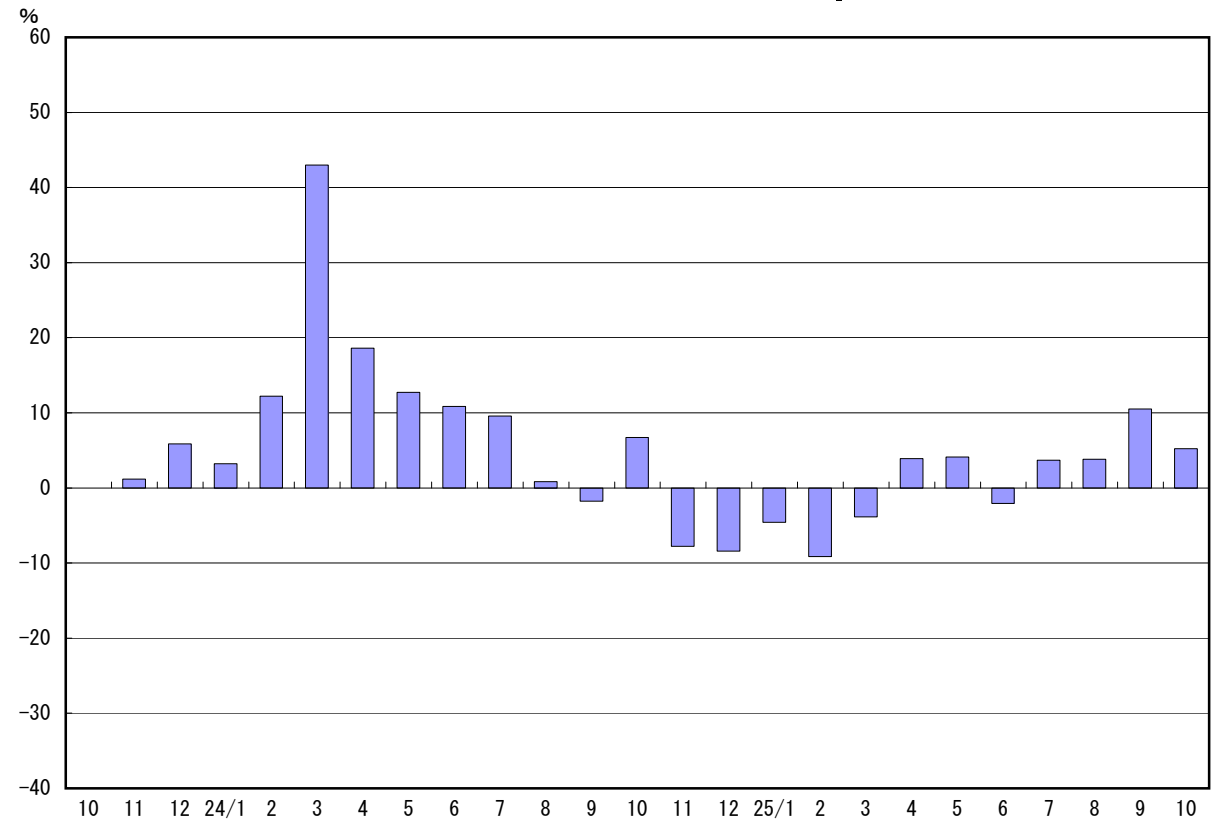
	業 種	前月比(%)	主 な 品 目
生産 上昇	一般機械工業	8.2	プレス用金型、自動販売機
	輸送機械工業	9.9	普通乗用車、ステアリング装置
出荷 上昇	電気機械工業	14.2	低圧電力・機器用コンデンサ、自動車用白熱灯器具(二輪自動車用を含む)
	電子部品・デバイス工業	16.2	シリコンダイオード、線形集積回路
在庫 低下	一般機械工業	▲ 34.0	娯楽機器
	輸送機械工業	▲ 9.8	普通乗用車

(注)各指数の上昇・低下に影響を与えた主な業種を載せている。一部秘匿あり。

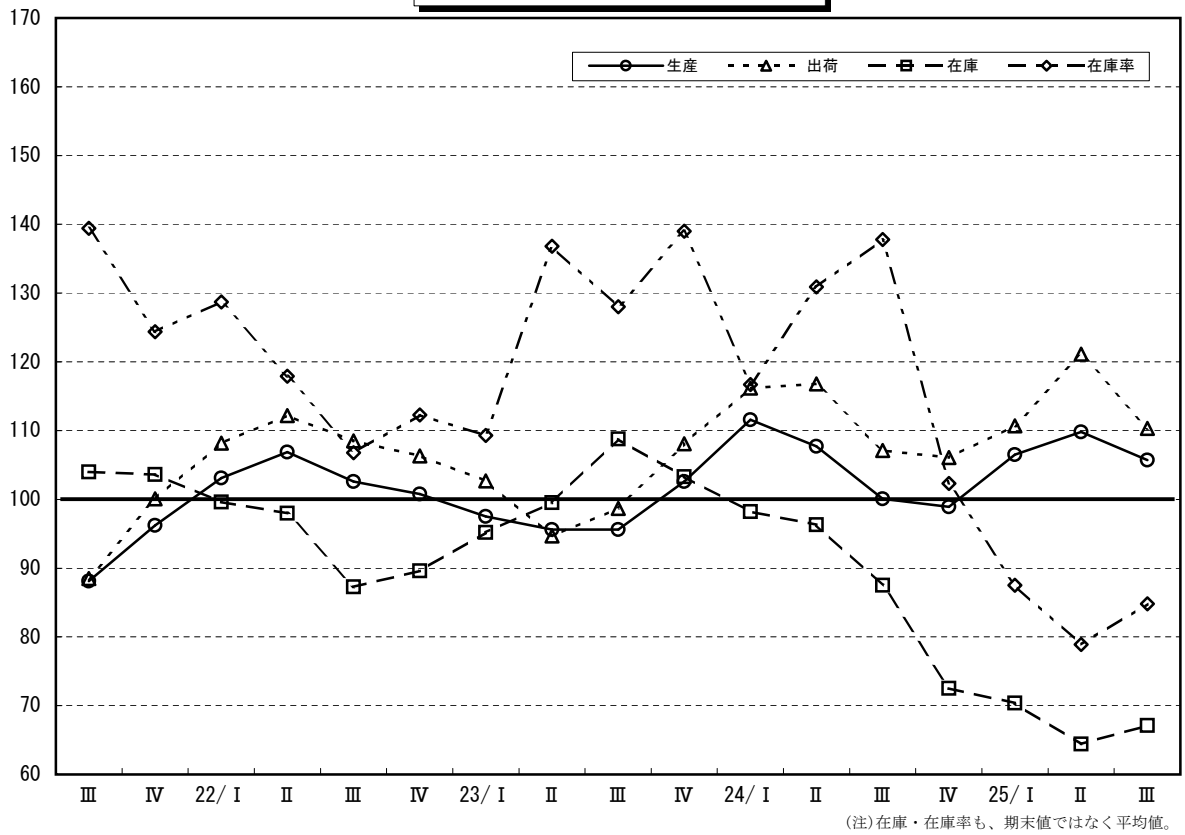
鉱工業指数の推移
(17年=100 季節調整済指数)



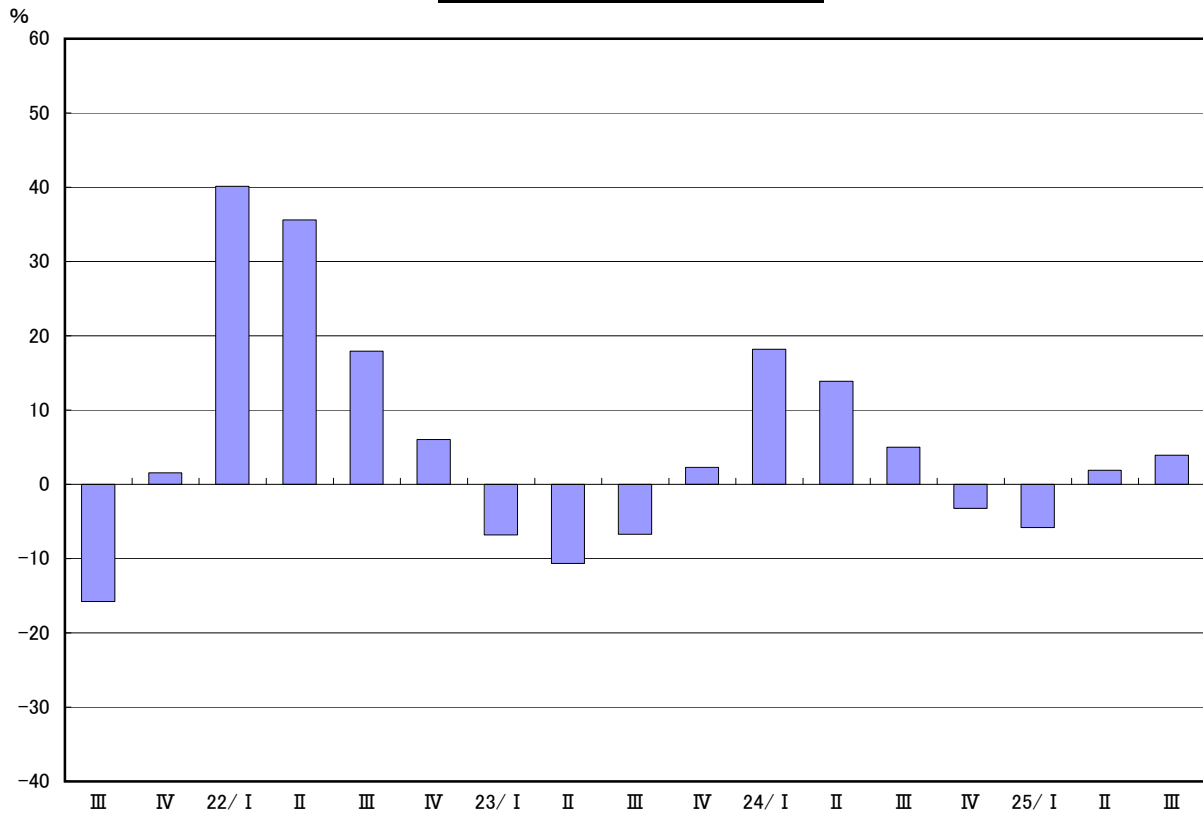
生産指数前年同月比の推移
(17年=100 原指数)



鋳工業指数の推移(期別)
(17年=100 季節調整済)



生産指数前年同期比の推移
(17年=100 原指数)



財別格付け上の定義

最終需要財	<p>鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない製品</p> <p>ただし、建設財を含み、企業消費財を除く</p>
投資財	<p>資本財と建設財の合計</p>
資本財	<p>家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの</p>
建設財	<p>建設業者で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの</p>
消費財	<p>家計で購入される製品（耐久消費財と非耐久消費財の合計）</p>
耐久消費財	<p>原則として耐用想定年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの</p>
非耐久消費財	<p>原則として耐用想定年数が1年未満または比較的購入価格が低いもの</p>
生産財	<p>鉱工業及び他の産業に原材料として投入される製品</p> <p>ただし、企業消費財を含み、建設財を除く</p>
鉱工業用生産財	<p>鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品</p>
その他用生産財	<p>非鉱工業用の原材料、燃料、消耗品及び企業消費財</p>

【統計課からのお知らせ】

平成 26 年版 群馬県民手帳 販売中です！

- 定価 1冊 500円（税込）
- カラー 濃緑・赤・ベージュ
- 内容 日記編（月・週間予定表、過去10年の天気、防災関連情報等）
資料編（各種統計資料、便覧、所在地等）
- 販売場所
群馬県統計協会（県庁11階統計課内）、県有施設及び各書店等、
県内セブン-イレブン・セーブオンほか
- お問い合わせ
群馬県統計協会（県庁11階統計課内）
電話：027-226-2412 FAX：027-224-9224 まで



※ 実際の製品の色は、写真と多少異なります。

★群馬県民手帳に関するアンケート実施中★

御利用いただいている皆様などの御意見を今後の参考とするためアンケート調査を実施しています。是非御協力ください。

【実施期間】平成26年1月31日（金）まで

【回答方法】下記アドレスもしくはQRコードへアクセスし回答

【アドレス】<http://toukei.pref.gunma.jp/gsa/techo/>

【QRコード】右記画像を読み取るとアンケートページへアクセスします



群馬県鉱工業指数のお問い合わせは・・・

群馬県企画部統計課 経済産業係

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

TEL (027)226-2419(直通)

FAX (027)224-9224

統計表はインターネットでご覧いただけます

<http://toukei.pref.gunma.jp/>